
放課後の小さな出来事

榛名水木

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

放課後の小さな出来事

【Nコード】

N4123F

【作者名】

榛名水木

【あらすじ】

しょうがくせいわたしは、ずここのじかんに、にがおえを、かきました。いっしょに、えをかいいたおとこのこは、ちょっと、すきじゃありません。だって、わたしのこ、からかうからです。きょうのかえり、わたしは、そのおとこのこに、よばれました。

放課後の小さな出来事

主人公は大人しい少女だった。

何か用がない限り、自分からは喋らない。喋りかけられても、返すのはほんの二言、三言で、そこから話を発展させて楽しむ、といった喋り方が彼女には上手く出来ない。

「原田さん！」

原田、それが彼女の名だった。

廊下を歩いているところを呼ばれて振り返った先、その突き当たりに、少年が一人、立っていた。栽培係の水やりの仕事のために、放課後遅くまで残っていたので、廊下には主人公と彼の二人だけだ。「ちよつと、ちよつと！」

大きく手招きをする彼は長谷川、主人公と同じクラスの少年であった。

主人公は、彼が大の苦手だった。主人公の淡々とした話し方になつかないクラスメイトたちの中、彼だけは事あるごとにちよつかいを出し、それは例えば給食のカレーにニンジンをわざと沢山入れたり 主人公はニンジンが大嫌いだ 、ランドセルからにゅつと飛び出したりコーダーを引っこ抜いたり可愛いものだったが、主人公は幼いなりに、本心から頭を悩ませていた。

呼ばれてしまったものは仕方がない。主人公は踵を返し、長谷川のもとへと歩いていく。すると、彼の背中に何か見えてきた。どうやらそれは筒状に丸めた画用紙らしい。長谷川は照れたようにここにこ笑いながら、口を開く。

「図工の時間に似顔絵描いたじゃん？ あれ、完成したんだよ」
そういえばそんなものがあつたつけ、と主人公は目線を泳がせた。

図工の時間は先週から、出席番号順の席で、隣の人の似顔絵を描くのが課題だった。“長谷川・原田”で彼らは隣の席だ。

絵が得意でない主人公は、長谷川に見えないように手で画用紙を隠しながら必死に終わらせて、先生から検印を押してもらった今はもう、自宅の机の引き出しの奥に封印してある。

「じゃーん！」

見たい、なんて思った覚えはなかったが、広げられたものに自然と目がいつてしまい、

「……………」

黙って目を丸くした。

画用紙の中に、肩から上の大きく描かれた“原田なつみ”がいた。花のピンのついた黒い髪は肩まで伸びていて、大きな目に小さな鼻、分厚い唇の間には白い歯が並ぶ。“原田なつみ”は笑っていた。

「原田さんって、あんまり笑ってんの見たことないからさ、書くの大変だったんだぜ？」

長谷川はそう言つて、野球刈りの短い頭を掻いた。

実物とは主人公には、画用紙で笑っている“原田なつみ”が、自分には持っていないものを持っているように見えた。なにより、彼女は楽しそうだった。

「俺さあ、もつと原田さんが笑ってくれないと困るんだよ」

え、と主人公は思わず聞き返していた。嬉しいのか、照れくさいのか、少し頬が赤くなる。

「俺がギャグ言ったとき、ちゃんと笑ってくれないと、滑ったみたいだろ？」

「……………」

なんだ、そういうことか。

主人公は拍子抜けした溜息を飲み込んで、長谷川を見た。どうやら本当に、本気でその台詞を言っただけらしい。照れ隠しでも何でもなく、“素”だ。そんな長谷川は主人公を指差して、

「だから、笑えよ？」

念を押すように言った。

主人公は唇の端をほんの少し上げて、

「うん」

素直に頷いた。

それは放課後の小さな出来事。

（後書き）

もともと絵本として完成させたものを、小説として書き直してみました。絵がない分、文章には描写を入れるよう意識をしたつもりなのですが……いかがだったでしょうか。

ほのぼのしていただけにあれば嬉しいです。

お読みいただきありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4123f/>

放課後の小さな出来事

2010年12月18日22時31分発行